

日中経済交流研究会 2013年 第一次訪中団 in 上海・蘇州
 日時：9月12日～15日

あなたは中国からナニを得る!?

～中国を知らずして、企業のグローバル化はありえない～

報告者：合田 耕作氏 (株)ギャレークルー

今年度の日中経済交流研究会では、2回の訪中団を計画。9月に初心者向けとして上海・蘇州へ、11月に会員とさらに深く中国を知りたい方を対象に武漢を訪問することになっております。私自身、今回で中国本土へは、4回目。訪中団は、3回目の参加で、中国はまだまだ初心者、毎回驚きとワクワク感を味わいながら参加させていただいております。

今回は、「日中ものづくり商談会@上海2013」という長い歴史を持つ展示会に日中経済交流会のメンバーも出展することもあり、見学コースにこの展示会の見学も入れていただき、その後、蘇州にある企業の工場などを見学させていただきました。

「日中ものづくり商談会」とは、以前はどちらかといえば、製造拠点や仕入れ先を中国に求める日本企業のための展示会だったそうです。しかし、ここ最近では中国市場への「販売目的」で出展をされている企業が増えてきているとのことでした。そこで私はこの展示会に出展されている方々を始め、来場者、大阪府の上海事務所の方など、様々な方からお話をお聞きし、現在の中国市場を「売る」市場と考えた場合、いま日本から進出している企業はどんな状態なのか、生の声を聴いてみることにしました。結論から言うと、まだ手探りの段階の企業は多いけれど、市場は間違いなくあるし、チャン



2013年度▲
第一次訪中団



蘇州タカラさんでの工場見学 ▲

スもまだまだあるという確信をどなたもお持ちでした。

日本の品質管理基準は、厳しすぎるという声を中国でもよく聴きます。しかし、中国でも一部ですがそれが当たり前になる時代がすぐそこまで近づいてきているように思います。

中国は世界中からモノを買い始めています。すでに、中国には世界の工場が集まっており、世界中からモノを調達し、そして世界中へ輸出しています。今後は、消費財や食料品などあらゆるものを世界から輸入し、消費する消費大国になっていくことでしょう。アジアを見渡しても、かつての発展途上国は、どんどん消費地へと変わっています。今我々にできることは、中国やアジア市場を実際にこの目で見て、日本国内で何ができるか、そして海外にも自社の製品を出すとするれば、何をすべきかを考えることも大切なのではないかと思います。ぜひ皆さんも、訪中団に参加され、自らの見識を広げてみてください。



▲ものづくり商談会開会式の様子